

平成 18 年度 水島地域環境再生財団 事業報告書

1. 財団の機関会議等

(1) 理事会

2006年6月24日(土) 第19回理事会を開催し、平成17年度事業報告、平成17年度決算報告について議決を行った。

2006年7月30日(日) 第20回理事会(臨時会)を開催し、理事長及び専務理事の互選、退職金引当金の取り崩しについて議決を行った。

2006年10月28日(土) 第21回理事会(臨時会)を開催し、環境再生積立基金規定の改正について協議した。

2007年3月18日(日) 第22回理事会を開催し、平成18年度補正予算、平成19年度事業計画、平成19年度収支予算について承認した。また、2007年から9年間の中長期計画を決定した。

(2) 評議員会

2006年6月10日(土) 第15回評議員会を開催し、平成17年度事業報告、平成17年度決算報告について議決を行った。

2006年10月21日(土) 第16回評議員会(臨時会)を開催し、環境再生積立基金規定の改正、公益法人改革などについて議論した。

2006年3月3日(土) 第17回評議員会を開催し、平成18年度補正予算、平成19年度事業計画、平成19年度収支予算について承認した。

(3) 拡大事務局会議

理事および常勤・非常勤職員を主メンバーとした拡大事務局会議をほぼ毎月行い、「水島地域の再生のために - 現状と課題 - (2006年6月発行) 中長期計画(2007年3月完成) などについて検討した。(5/20、6/24、7/30、9/16、10/28、12/24、1/27、2/19、3/18)。また、賛助会員、海底ゴミアルバイト等関係者にも参加を呼びかけ、「みずしま財団中長期計画ワークショップ」を開催した(11/23)。

(4) 事務局会議

常勤職員による打ち合わせを毎週木曜日の午前10時より約2時間実施した。

2. 財団の活動

(1) 地域再生

1) 地域資源の掘り起こし

水島臨海鉄道に関して、水島臨海鉄道(株)に聞き取り調査をし、みずしま財団より「臨鉄の車窓から」を執筆するなど、他の事業に関連して地域資源の掘り起こしを行った。その情報やデータはたよりやブログなど紙媒体や電子媒体を活用し蓄積を行った。

2) 調査活動

八間川をシンボルとした環境再生活動

八間川調査を継続しておこなった。また、八間川の上流部のクラレ倉敷工場移転にあわせ、クラレ倉敷工場(9/4)や倉敷市への聞き取り調査をおこない、水島のまちづくりの中心に位置づけ調査・活動をおこなった。

* 八間川調査	第31回八間川調査	6月11日(日)	14人参加
	第32回八間川調査	8月13日(日)	21人参加
	第33回八間川調査	11月19日(日)	30人参加
	第34回八間川調査	3月25日(日)	12人参加

瀬戸内海環境再生に関する調査研究

「ひと、輝くまち 倉敷。」市民企画提案事業「パートナーシップによる海底ゴミ回収・処理体制の構築事業」として、倉敷市の海域を中心に海底ゴミに関する現状把握調査をおこなうとともに、市民への啓発活動をおこなった。

* 実態把握調査

- ・ 水島沖 (12/11)
- ・ 黒崎沖 (2/25)
- ・ 黒崎沖・水島沖 (3/20)

* 聞き取り調査

- ・ 児島地区漁連 (9/15)
- ・ 下津井地区漁連 (10/10)
- ・ 長浜漁協 (10/17)
- ・ 黒崎漁協 (11/20)
- ・ 下津井漁協 (11/28)
- ・ 連島漁協訪問 (12/12)
- ・ 大島漁協 (1/9)

* シンポジウムとオプションツアーの開催

- ・ シンポジウム『『倉敷の海』を知っていますか 海底ゴミからみた現状と課題』
2007年2月24日(土) 倉敷市芸文館 参加者：50名
- ・ オプションツアー『船に乗って見に行こう!』
2007年2月25日(日) 玉島黒崎沖 参加者：19名

また、瀬戸内海海ごみ対策検討会(環境省中国四国地方環境事務所)に委員として参加するとともに、その運営にかかわる事業の委託を受け、検討会と3つの専門部会の運営をおこなった。また、実態把握専門部会については、みずしま財団理事と研究員が委員として部会に出席した。

第2回瀬戸内海海ごみ対策検討会 2007年2月7日 岡山コンベンションセンター

実態把握専門部会 2006年5月23日 中国四国地方環境事務所会議室
2006年9月12日 中国四国地方環境事務所会議室
2007年1月23日 中国四国地方環境事務所会議室

実態把握調査 2006年12月25日 水島港湾区域、笠岡大島沿岸

回収処理専門部会 2007年3月28日 中国四国地方環境事務所会議室

発生抑制専門部会 2007年3月15日 中国四国地方環境事務所会議室

あわせて、海底ゴミ回収と集計作業の実施(週1回程度、岡山大学学生アルバイト)や、海岸生物調査への協力(9/23 主催：環瀬戸内海会議)とともに、EMECs 7(フランス・カーン)での口頭発表・ポスター展示(5/9-12)、第2回海洋ゴミ国際ワークショップ(主催：環日本海環境協力センター)での口頭発表や(3/28)、第28回瀬戸内シンポジウム(主催：日本科学者会議・瀬戸内の環境を守る連絡会)での口頭発表(8/19-20)、瀬戸内海研究フォーラム in 広島(主催：瀬戸内海研究会議)での口頭発表・ポスター発表(8/31-9/1)、国際海岸クリーンアップ&ワークショップ in 山形 2006(9/28-30)への参加など国内外へ海ごみに関する情報発信もおこなった。

コンビナート周辺の環境改善に関する調査研究

平成18年度は、オキシダント注意報が平成13年に発令されて以来、5年ぶりに発令され、情報が18回、情報が9回、注意報が7回発令されるという状況となり、健康被害も報告された。こうした状況に対応して、大気関連のデータなどを収集した。

また、コンビナート周辺の環境改善にかかわる行政の計画に対して検討をし、意見書をまとめて提出した。

- ・ 「倉敷市環境基本計画」改訂に関する意見書
- ・ 倉敷市国民保護計画（案）に対する意見
- ・ 新おかやま夢づくりプラン（仮称）素案に対する意見について

また、日本環境会議四日市大会の実行委員会に実行委員として参加した（10/9、1/13-14）

3）組織作り

環境懇談会（仮称）の開催

6月の環境月間にあわせ、倉敷市との懇談会をおこない、紫外線対策や海底ゴミ問題、また環境基本計画の策定といった内容について懇談を行った（6/27開催 参加者 市民：13名、倉敷市21名）。

また、倉敷市環境基本計画・倉敷市緑の基本計画の改定にあわせ、月1回程度、勉強会を開き（4/11、5/2、5/25、6/9、6/22、7/11、8/4、9/7、10/3、11/9、12/12、1/23、2/15、3/15）、市民とともに学び、倉敷市へ意見を随時出した。あわせて、倉敷市環境審議会の傍聴も積極的におこなった（5/31、7/28、10/5、1/25）。

八間川の環境再生へ向けた住民との懇談会の開催

まちづくり交付金事業の実施検討や倉敷市景観計画の策定、倉敷市都市計画マスタープランの策定など、水島のまちづくりに関連する倉敷市の計画策定が明らかになったので、八間川だけでなく、広く水島のまちづくりに関する懇談会をおこなうために、倉敷市の担当部署等との打合せや出前講座などをおこない、来年度以降、住民を含めた懇談会を実施するための準備をおこなった。

* 出前講座（環境基本計画、都市計画マスタープラン、景観計画など 11/30）

* 懇談会（1/16）

コミュニティとの連携

みずしま財団より「再発見！水島の魅力」で、水島の商店街の店舗、施設等を紹介とともに、水島商店街のイベントにも参加・協力した。

* 「水島港まつり」に協力し、七夕飾りを展示した（8/4～6）

* 「おひなめぐり」に協力し、お雛人形を展示した（2/10～3/4）

（2）公害経験の継承・被害者支援

1）資料保存

倉敷公害訴訟和解10周年のつどいの開催にあわせ、和解から10年間に関する資料を収集し、記念誌の発行に協力した。あわせて、DVD「よみがえれ ふるさと水島よ」を作成した。

また、資料保存活動にあわせ、全国図書館大会（10/27）や資料保存全国大会（11/9-10）に参加した。

2）公害患者の療養生活支援

倉敷公害訴訟和解10周年を迎えるにあたり、実行委員会（6/13、7/11、8/2、9/1、11/10、12/1、12/14）に参加し、記念のつどいを開催した。

2006年12月3日 倉敷アイビースクエア 参加者：150名

また、「平成18年度環境省請負事業高齢認定患者リハビリテーションプログラムの開発に関する調査研究」（財団法人公害地域再生センター）に協力し、調査の協力や講演会の共催実施などをおこなった。

千住秀明先生「講演会」と「やってみよう！呼吸リハビリ」（共催）

2007年3月23日 水島公民館 参加者：65名

（3）公害・環境学習

1）教材開発、普及

独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成をうけ、「瀬戸内海の環境再生を目指し、アマモ場

を活用した環境教育の実践事業」として、採泥調査や聞き取り調査、アマモ場見学会を行うとともに、環境学習プログラム検討会を立ち上げた。また、事業の結果を市民に伝える報告会を実施するとともに、海底ゴミに関するウェブサイトの整備も行い、啓発に努めた。

* 海底土壌調査

- ・採泥（10/27）

* 聞き取り調査

- ・伊勢・三河湾流域ネットワーク（11/12）
- ・三重県農水商工部（11/13）

* アマモ場見学会

- ・園州、向島沖（12/13）

* 環境教育プログラム検討委員会

- ・準備会開催（2/16）
- ・第1回検討委員会・アマモ場見学会（3/19）

* 平成18年度海底ゴミ調査活動報告会「『海のゆりかご』アマモ場について考える 瀬戸内海の再生のために」開催 2007年2月24日 倉敷市芸文館 参加者：39名

2) 講座の開催

岡山県から「おかやま環境塾」の委託をうけ、企画実施した。宿泊研修と3回連続研修「まち・川・海から学ぶ環境問題」の2つの研修をおこなった。

* 宿泊研修

- ・「ぐるっと瀬戸内海、岡山県の環境問題を考える」8月5～6日 参加者：28人

* 3回連続研修

- ・第1回「まちから学ぶ環境問題」10月22日 参加者：18人
- ・第2回「川から学ぶ環境問題」11月19日 参加者：21人
- ・第3回「海から学ぶ環境問題」12月10日 参加者：14人

独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の委託事業として、地球環境市民大学校「環境NGOのための組織マネジメント講座」を企画実施した。

- ・環境NGOのための組織マネジメント講座 1月20～21日 参加者：24名
講師：山村宜之氏、小川雅由氏、高田研氏

また、昨年度の「地球環境市民大学校 環境NGOと市民のつどい」に関連して、大川村エコツアー（主催：大川村ふるさと村公社）を共催として開催した（6/10-11）。

3) 水島地域の紹介

地域情報の発信

写真集「みずしま」を積極的にPRするとともに、「水島の現状と課題」ならびにパンフレット「みずしまを知っていますか」を完成させ、これらを活用し、大学関係の受け入れを積極的におこなった。

* 研修受け入れ

- ・横浜国立大学大門研究室視察受け入れ（9/11）
- ・島根大学法文学部経済学分野学生研修受け入れ（9/14）
- ・岡山大学環境理工学部土地利用計画演習（担当：金助教授）視察受け入れ・交流（11/18）
- ・桜美林大学 藤川まなみ専任講師 他2名 視察受け入れ・交流（2/26）
- ・四日市政策検討委員会ワーキンググループ視察受け入れ・交流（3/16）

* 講演・その他

- ・岡山県民主医療連合会研修への協力（4/6-7）

- ・ 地域経済調査研究会での報告(7/22)
- ・ 「地域づくり研修会」(主催:備中県民局)講師として参加(1/17)
- ・ 倉敷医療生活協同組合まちづくり委員会に講師として参加(2/13)
- ・ PRTR セミナー(主催:有害化学物質削減ネットワーク)にパネリストとして参加(2/25)
- ・ マイスター飛躍塾(主催:岡山県高齢者福祉生活協同組合)講師(3/13)

コンビナート公害に関する経験の途上国への情報発信

韓国からの研究者・行政関係者の視察を受け入れ、フィールドワークとともに水島地域の説明等をおこなった(9/28)。

(4) 基本広報活動

1) 活動交流

関係諸団体との情報・活動面での交流をはかった。メーリングリスト等を活用したネットワークへの参加、情報交換等によって各分野での取り組みにおける協働を進めた。

- ・ 暮らしきパートナーシップ推進ひろば
ロジ研などを中心に各種行事に参加
- ・ 倉敷まちづくりネットワーク
世話人として参加。その他各種行事に参加
- ・ GREENDAY2006・2007(2006年4月22日開催・2007年4月21日開催)
実行委員会として参加。当日、アピール展への参加
- ・ おかやま環境フォーラム
おかやま環境ネットワークが主催する「おかやま環境フォーラム」において第1部会(自然環境部会)を担当。
- ・ 自治研究集会
*倉敷市地方自治研究集会に実行委員として参加。第4分科会で報告(11/5)
*岡山県地方自治研究集会に協力(2/18)
- ・ FM暮らしき番組審議会
審議委員として参加。
- ・ 日本環境学会
第32回大会(島根大)で海底ゴミについての取り組みを報告するとともに(6/17-18)幹事として幹事会に参加した(6/17・12/16)
- ・ その他イベント等
エコフェスタ出展(主催:岡山県ほか)(10/29)
あるある備中探検隊NPOむら出展(主催:備中県民局ほか)(10/7-9)
2006生き生きフェスタ暮らしき出展(主催:倉敷市職員労働組合)(10/15)
中四国環境教育ミーティング実行委員会参加(6/24-25)

2) 広報宣伝

みずしま財団たより

- ・ みずしま財団 たより 隔月発行
第30号 特集「住民が調べた環境調査 ~あさがお調査~」
第31号 特集「海底ゴミ」
第32号 特集「環境に関する倉敷市の基本計画の見直しがおこなわれます」
第33号 特集「検証・協働の視点からみる倉敷市市民企画提案事業」
第34号 特集「倉敷公害訴訟和解10周年記念「和解から10周年の総括と今後の展望」
第35号 特集「平成18年度 視察受け入れの実績と今後の展望」

・FM 暮らしき

* 「みずすましの耳」 毎月第 4 木曜日、午後 7:30~7:40 放送

4 月「GREENDAY2006 報告」

5 月「EMECS 7 報告」

6 月「環境月間における倉敷市との懇談会」

7 月「夏のイベント紹介」

8 月「8 月以降のイベント紹介」

9 月 3 週目「倉敷の環境行政 2 つの基本計画について」

9 月「最終回：倉敷・水島の環境再生、まちづくり」

* 「みみみみずしま財団エコらぼ Monday」第 1・3・5 月曜日午後 4:45~55 生放送

10/16 「まちづくりと環境問題・環境塾案内」

10/30 「光化学オキシダント」

11/6 「地球温暖化問題」

11/20 「バイオエタノール」

12/4 「大気公害の今昔」

12/18 「水島のお正月」

1/15 「地球環境基金について」

1/29 「海ごみ強化月間 その 1」

2/5 「海ごみ強化月間 その 2」

2/19 「海ごみ強化月間 その 3」

3/5 「海ごみ強化月間 総括」

3/19 「呼吸器疾患と呼吸リハビリ」

3. 事務局

(1) インターン

倉敷市まちづくり人材養成講座中級編（主催：倉敷市）に関するインターンシップ生を 2 名受け入れた。

(2) 賛助会員

前年比では、口数および会員数ともに増加している。特に個人では、口数の目標にたいして、大きく上回る達成状況となった。しかし、その他口数や会員数は目標に達していないため今後の課題である。

会員数	個人	法人	団体
平成 18 年度	370 口（137 人）	23 口（7 法人）	20 口（14 団体）
平成 18 年度目標	300 口（150 人）	60 口（30 法人）	30 口（30 団体）
平成 17 年度	330 口（126 人）	21 口（6 法人）	14 口（12 団体）